

# 令和2年度 第6回大潟区地域協議会次第

日時 令和2年9月24日(木) 午後6時30分から

会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

- 「公の施設の再配置計画」の策定について(行政改革推進課) …資料No.1
  
- 大潟町中学校屋外テニスコートの照明設備の廃止について(大潟区総合事務所)  
…資料No.2
  
- 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の冬期間のプール休止について  
(柿崎区総合事務所) …資料No.3
  
- 温浴・宿泊施設の再配置に向けた大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の現況について  
(大潟区総合事務所) …資料No.4
  
- 株式会社 大潟地域活性化センターの経営状況について(大潟区総合事務所) …資料No.5

## 4 その他

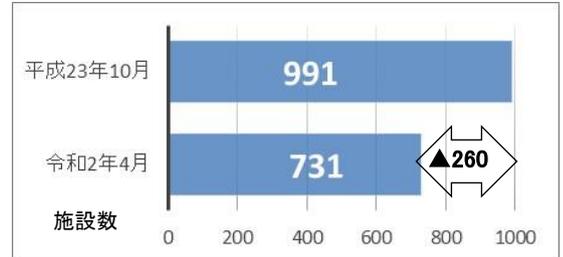
## 5 閉 会

# 「公の施設の再配置計画」の取組について

## 1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

### (1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



### (2) 現状と課題

#### 現 状

##### ○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1 現在の人口：190,042人)

##### ○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

##### ○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

#### 課 題

- 人口の減少

- 施設機能の重複する配置

- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制

- 施設機能の適正な維持

\*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

## 2 公の施設の再配置計画(個別施設計画)について

### (1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

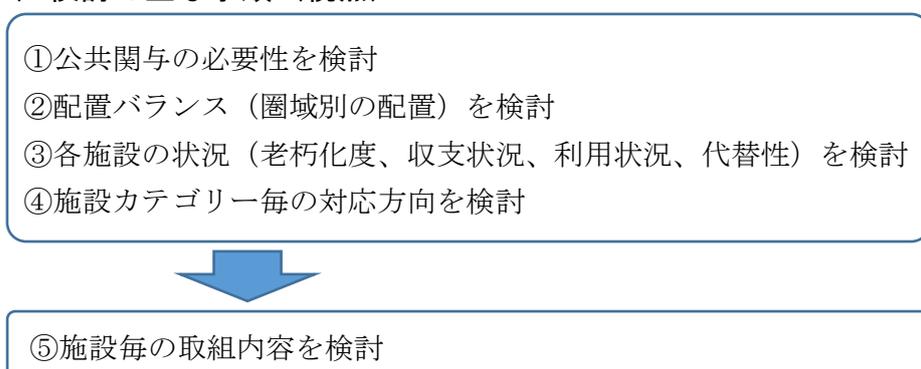
### (2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

### (3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

### (4) 検討の主な手順（視点）



## 3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
〈参考〉 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）



## 大潟町中学校屋外テニスコート照明設備の概要

### 1 施設概要

- 施設名称：大潟町中学校屋外テニスコート照明設備
- 所在地：上越市大潟区潟町 575
- 構造等：照明塔／鉄筋コンクリート柱 4 基 光源／蛍光水銀ランプ 24 灯
- 設置年月日：昭和 57 年 11 月（築 37 年）
- 管理形態：直営
- 利用料金：占用使用料（1 時間につき）510 円

### 2 夜間（照明施設）利用状況（平成 27 年度～令和元年度）

区分	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数	1,270	1,171	901	637	1,153
利用件数	116	108	93	46	96

※利用団体（主な定期利用団体）

大潟テニスクラブ（大潟テニスクラブジュニア）：毎週水曜日

大潟ソフトテニスクラブ：毎週木曜日（R2 年度から大潟町中学校体育館を利用）

### 3 収支状況

(収入)

単位：千円

項目	H30	R1	備考
使用料	4	47	

(支出)

電気料金	692	740	
修繕料	495	655	水銀灯交換、分電盤囲い設置 等
合計	1,187	1,395	

差引（収入－支出）	▲1,183	▲1,348	
-----------	--------	--------	--

### 4 現状と課題

- 昭和 57 年に大潟町中学校の部活動及び学校開放施設として、テニスコート及び照明設備を整備。コート面は、平成 24 年度に砂入り人工芝への改修を実施した。
- 平成 28 年度末をもって大潟町中学校ソフトテニス部が廃部となったことから、以後は学校開放施設として、一般団体の利用に限られることとなった。
- これまで照明設備の改修は未実施であり、建設から 37 年経過していることから、設備に腐食等の劣化がみられる。設備更新は概算で約 900 万円の費用が見込まれる。
- 当該施設の維持経費は、電気料金や水銀灯の交換費や老朽化箇所の修繕費など、過去 5 年間の平均で約 100 万円となっている。
- 近年では、夜間利用は主に大潟区内の 2 団体がそれぞれ週 1 回利用している。
- テニスコート自体は存続するため、日中利用には支障がない。

## 大湊健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の 冬期間のプール休止について

### 1 休止理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の大湊健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用者数及び売上の減少が見込まれるため、プールの営業を休止するもの。

### 2 休止期間

令和2年11月2日(月)～令和3年3月31日(水)

1 施設名 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館

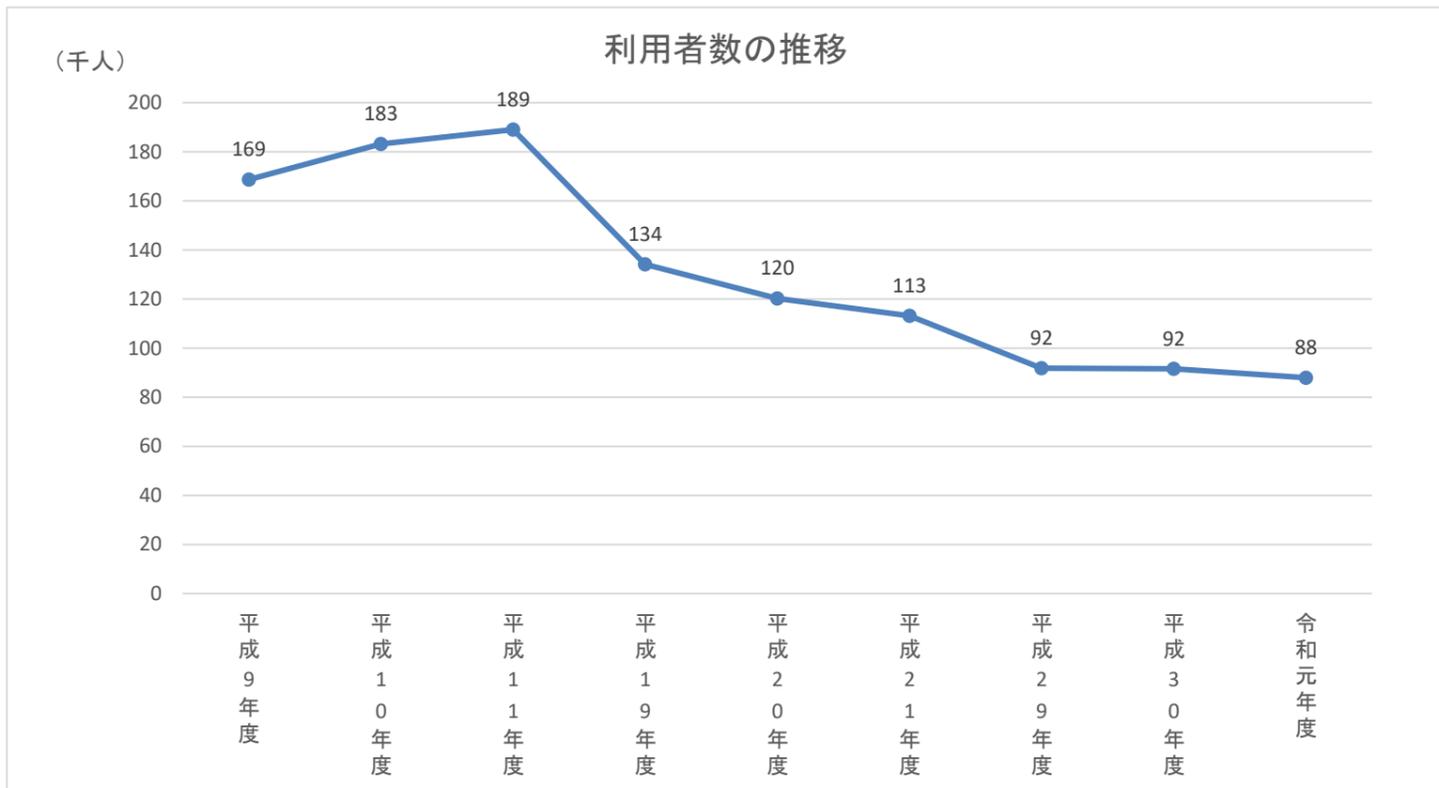
令和2年9月24日(木)  
第6回大潟区地域協議会  
資料No.4-1

2 施設の設置目的

市民の健康増進及び福祉の向上に寄与し、本市の観光振興及び活性化を図るため、健康スポーツプラザを設置する。

3 施設の概要

所在地	上越市大潟区九戸浜241番地8
主な施設機能	日帰り温浴、プール、レストラン（令和2年3月末現在）
設置	平成9年度4月
構造	鉄骨造（一部木造）
耐用年数	33年（到来年：令和12年）
面積	3,147.6㎡（延べ）
現在の管理形態	指定管理
指定管理者	株式会社大潟地域活性化センター
現指定管理期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
施設の現状 （修繕履歴、不具合の状況など）	施設の老朽化に伴い、近年、施設内各所の空調設備、循環ポンプ等の衛生設備の修繕が急増している。今後は源泉取水に係る設備の修繕、空調設備に必要な冷温水発生機や温水ボイラーの大規模な更新工事も必要である。



4 利用者数（延べ）

(単位：人)

項目	設立当初			中間期			直近3か年		
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日帰り温浴	127,832	138,834	141,133	110,714	98,768	93,953	65,412	65,245	63,093
プール	21,799	26,570	31,301	19,092	17,008	14,613	19,894	19,807	18,575
日帰り温浴&プール	19,031	17,853	16,624	4,370	4,467	4,615	4,933	4,583	4,352
TR教室							1,621	1,900	1,930
合計	168,662	183,257	189,058	134,176	120,243	113,181	91,860	91,535	87,950

5 市の収支状況

(税込み、単位：千円)

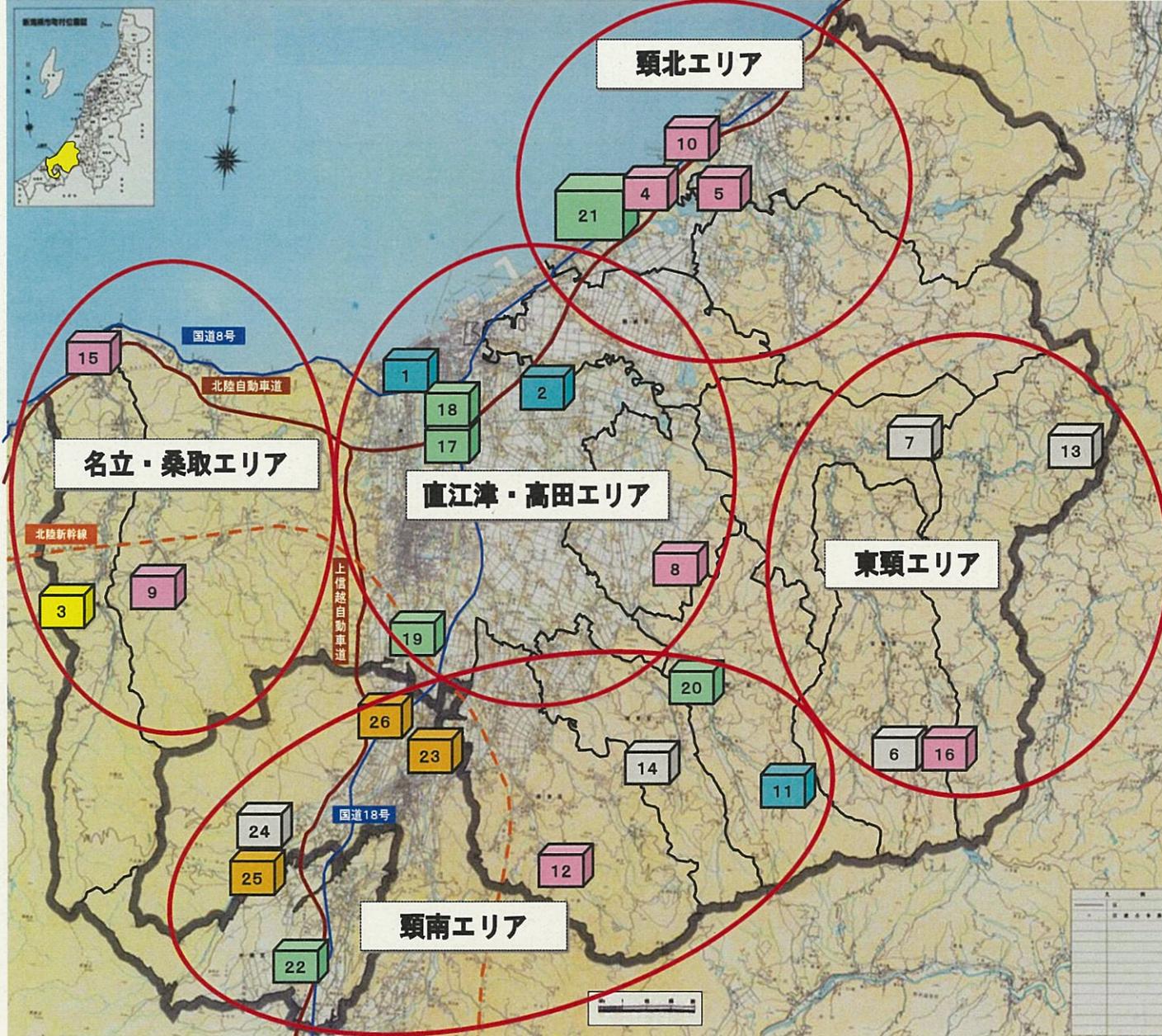
区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入(A)	0	0	0
支出(B)	修繕料	3,088	2,805
	指定管理料	36,075	36,075
	その他委託料	7,690	3,165
	その他	1,103	1,799
	合計	47,956	43,844
公費投入額(B-A)	47,956	43,844	56,327
利用者1人当たりの公費投入額(円)	522	479	640
※ 入湯税収入額	6,811	6,759	6,652
※ シニアパスポート補助額	4,433	4,803	5,018

6 指定管理者の収支状況

(税抜き、単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入(A)	利用料金収入	40,215	40,108
	指定管理料	33,403	33,403
	その他	42,700	43,375
	合計	116,318	116,886
支出(B)	115,956	116,348	115,659
差引(A-B)	362	538	3,824

上越市周辺における主な温浴・宿泊施設の位置図(令和2年3月末現在)



分類	番号	施設名	施設区分	開業年	経営区分
市内公設	1	市民いこいの家	日帰り	平成6年	民間業者指定管理
	2	上越リゾートセンター くまみ家族園	日帰り	平成元年	民間業者指定管理
	3	ろばた館	日帰り	平成7年	直営 業務委託
	4	大湯健康スポーツプラザ 鱒の浜人魚館	日帰り	平成9年	第三セクター指定管理
	5	吉川ゆつたりの郷	日帰り	平成9年	第三セクター指定管理
	6	雪だるま温泉雪の湯	日帰り	平成3年	第三セクター指定管理
	7	浦川原霧ヶ岳温泉 ゆあみ	日帰り	平成4年	休止中
	8	三和ネイチャーリング ホテル米本陣	宿泊	平成6年	第三セクター指定管理
	9	くわどり湯つたり村	宿泊	平成11年	第三セクター指定管理
	10	柿崎マリンホテル ハマナス	宿泊	平成7年	第三セクター指定管理
	11	牧湯の里深山荘	宿泊	昭和61年	民間業者指定管理
	12	板倉保養センター (やすらぎ荘)	宿泊	平成7年	第三セクター指定管理
	13	大島あさひ荘	宿泊	昭和57年	休止中
	14	清里農村体験宿泊休憩施設 (山荘京ヶ岳新館)	宿泊	平成元年	休止中
	15	うみでらす名立	観光	平成12年	第三セクター指定管理
	16	雪だるま高原 (久比岐野)	観光	平成3年	第三セクター指定管理
市内民設	17	七福の湯	日帰り	平成16年	民間
	18	門前の湯	宿泊	平成19年	民間
	19	釜ぶたの湯	日帰り	平成30年	民間
	20	割烹新柳	日帰り	—	民間
	21	鱒の浜温泉街	宿泊	—	民間
	22	松ヶ峰温泉ひばり荘	日帰り	平成27年	民間
市外	23	ほっとランド	日帰り	平成9年	新井頸南広域 行政組合運営
	24	矢代ふれあいの里 友楽里館	宿泊	—	休止中
	25	ロッテアライリゾート	宿泊	平成29年	民間
	26	神の宮温泉 かわら亭	宿泊	平成20年	民間

I 基本事項

※以下は、令和2年3月31日現在の内容です。

1 法人の概要

設立年月日	平成5年8月3日		設立後 25年7月 経過	代表者	代表取締役 水澤三夫	非常勤	プロパー				
設立目的	旧大潟町が中心に大潟商工会・農協・八十二銀行・直江津信用金庫・町内の酒屋が株主となり、町の特産品の調査研究や開発、販売を目的に設立されたが、その後、「大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館」の管理運営事業を主に経営を行っている。			事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の管理運営事業</li> <li>大潟区の特産品の販売</li> </ul>						
資本金	10,000 千円			理事・取締役	監事・監査役	計	内訳				
出資者(上位5)	出資額	出資割合					プロパー	市派遣	市兼務	その他	
JHD(株)	10,000 千円	100.0%	役員	常勤	2	2	2				
	千円	0.0%		非常勤	1	1	2	2			
	千円	0.0%		計	3	1	4	4	0	0	0
	千円	0.0%	職員	正規職員	—	—	14	14			
	千円	0.0%		臨時・パート職員	—	—	13	13			
出資状況の補足				その他	—	—	0	0			
増資・減資の状況				計	—	—	27	27	0	0	0

2 法人の経営状況等（事業開始後2か年及び最新の3か年）

（単位：千円）

貸借対照表	平成14年度	平成15年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度	損益計算書	平成14年度	平成15年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	13,849	25,407	～	11,438	10,977	17,876	売上高	64,991	154,498	～	115,954	116,273	115,873
負債	1,694	11,734		7,817	7,201	10,696	(うち市支出額)				33,403	33,403	35,000
純資産	12,155	13,673		3,621	3,776	7,180	売上原価	2,261	29,595		16,516	16,239	14,578
(うち資本金)	10,000	10,000		10,000	10,000	10,000	販売管理費	63,471	124,381		100,812	101,341	101,292
(うち利益剰余金)	2,155	3,673		△6,379	△6,224	△2,820	営業利益	△741	522		278	381	4
予備的診断	A-1	A-1	～	B	B	A-3	経常利益	199	2,323		84	233	266
特記事項							税引後純利益	199	2,323		14	154	3,404

※予備的診断はA①：欠損金無・黒字、A②：欠損金無・赤字、A③：欠損金が資本金の50%未満・黒字、A④：欠損金が資本金の50%未満・赤字、B：欠損金が資本金の50%以上